

4. 単元の目標

- ・「ちいちゃんのかげおくり」の場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読める。
- ・読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人感じ方に違いがあることに気づくことができる。
- ・書かれている内容の中心や場面の様子がよくわかるように声に出して読める。

5. 評価規準

関心・意欲・態度	言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像しようとしている。
読む	会話や動作、情景を表す言葉をもとにして、場面を情景を想像しながら読んだり、自分の考えをまとめたりしている。 場面の様子がよく分かるように声に出して読んでいる。
話すこと・聞くこと	ノートにメモしたことをグループの仲間にわかりやすく伝えている。 友達の話最後まで聞き、あいづちをうったり質問やつけ加えをしたりしている。
言語についての知識・理解・技能	叙述に関わる言葉の意味に気をつけ、正しく理解している。

6. 4つの言語意識に基づいた指導内容

【言語活動】場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像してよむ。

- 【言語意識】(相手) 学級の仲間
 (目的) 言葉をもとにして、情景描写や登場人物の様子をとらえるために
 (場面・状況) 練りあいの場で
 (方法) 自分の考えを書いたノートをもとにして
 (評価) 自分の考えが深まったかを、まとめに書くことによって

7. 単元指導計画(全12時間)

次	時	ねらい	学習活動	評価観点	評価規準	評価方法
1	1	「ちいちゃんのかげおくり」を正しく音読し、心に残ったことや疑問をまとめることができる。	1. はじめての感想を書き、グループで交流しよう。教師の範読を聞きながら、読めない漢字にかなをつける。 はじめての感想を書き、グループで交流しよう。 2. 感想を書く。 3. グループでリーダーを中心に感想を交流し、新しく学んだことをノートに書く。 4. 全体で、3に書いたことを発表しあう。 5. ふりかえる。	関心 意欲 態度	自分なりに感想をノートに書くことができる。 友達の発表を最後まで聞くことができる。	感想文 発言内容
	2	全文を何度も繰り返し通読し、場面を想像しながらすらすら読める。	1. 通読する。 いろいろな方法で練習し、すらすら読めるようになるう。 2. 役割読み、一文交代読み、間違い読み、男女交互読みなどいろいろな方法で読む。 3. ふりかえる。	読む	場面を想像しながら、すらすら読むことができる。	観察
	3	挿絵を話の順に並び替え、場面ごとの説明を書くことができる。	1. 通読する。 さし絵を話の順にならべ、場面の説明を書こう。 2. 挿絵を並べる。 3. 挿絵を見ながら時、場所、登場人物などを書く。 4. ふりかえる。	書く	挿絵を物語の順に並べることができる。 場面について「いつ、どこで、だれが、どうした」を書くことができる。	ノート 発言内容
	4	読み聞かせやビデオにより、戦争についての知識を得ることができる。	お話を聞いて、せんそうについて学ぼう。 1. 話を聞く。 2. 感想を交流する。	関心 意欲 態度 話す	戦争について興味をもって聞くことができる。	発言内容 観察

2	1	2つのかげおくりを比べながら、かげおくりができなくなるくらい戦争が激しくなっていることを読み取ることができる。	<p>1. 1場面を通読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんなふうにかげおくりをしたのか読みとろう。</div> <p>2. 自分の考えを書く。 3. グループ交流する。 4. 全体交流する。 5. 感想や分かったことを書く。</p>	読む	ポイントとなる言葉を明確にして、かげおくりの様子を読み取ることができる。	ノート 発言内容
	2	空襲のこわさがわかる言葉を見つけてながら、一人ぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。	<p>1. 2場面を通読する。 2. 一言で言うとどんな夜だったのか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんなふうにかげおくりをしたのか読みとろう。</div> <p>3. 自分の考えを書く。 4. グループで交流する 5. 全体交流する。 6. 感想や分かったことを書く。</p>	読む	色や描写の言葉を見つけてながら、空襲の夜の様子やちいちゃんの心情を読み取ることができる。	ノート 発言内容
	3	お母さんに会いたいと願い、防空壕で待ち続けるちいちゃんの気持ちを、ちいちゃんの言動から読み取ることができる。	<p>1. 3場面を通読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ちいちゃんはどんなことを思っているか読み取ろう。</div> <p>2. 自分の考えを書く。 3. グループ交流する。 4. 全体交流する。 5. 感想や分かったことを書く。</p>	読む	深くうなずくなどちいちゃんの様子を表すの言葉に着目しながら、ちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。	ノート 発言内容
	4	最後のかげおくりの様子を読み取ることによって、ちいちゃんが一人死んでいったことがわかる。	<p>1. 4場面を通読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんなふうにかげおくりをしたか読み取ろう。</div> <p>2. 自分の考えを書く。 2. グループ交流する。 3. 全体交流する。 4. 感想やわかったことを書く。</p>	読む	かげおくりの様子を書くことによって、ちいちゃんが最後死んでいったということがわかる。	ノート 発言内容
	5 本時	最初と最後のかげおくりの間に、ちいちゃんのまわりから失われていったものが何かを考えることによって、戦争が命や大切なものを奪っていくものであることが分かる。	<p>1. 4場面を通読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なくなったものを見つけよう。</div> <p>2. グループ交流する。 3. 全体交流する。 4. 感想や分かったことを書く。</p>	読む	失われていったものが何かを考えることによって、ちいちゃんや多くの幼い子の命も消えていったことが分かる。	ノート 発言内容
	6	作者があえて5場面を書いたわけを考え、戦争と現在の平和を結びつけることができる。	<p>1. 5場面を通読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">何十年たった町とのちがいをを見つけよう。</div> <p>2. グループ交流する。 3. 全体交流する。 4. 感想や分かったことを書く。</p>	読む	何十年前の様子と現代のよりのちがいをみつけよう。	ノート 発言内容
3	1	音読発表会をすることを知り、グループごとに場面を選んで練習することができる。	<p>1. 通読する。 2. 音読発表会の持ち方について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">場面をえらんでれんしゅうしよう。</div> <p>3. グループごとに練習する。 4. ふりかえる。</p>	読む	読み取ってきたことが効果的に伝わるような読み方の工夫ができる。	観察
	2	読み取りで学習したことが伝わるような読み方の工夫、友だちのよさに気づきながら聞くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工夫しているところやよいところを見つけながら聞こう。</div> <p>1. 音読発表会をする。 2. 1グループが終わる毎に感想を交流しあう。 3. 発表会を終えての感想を書く。 4. 感想を発表する。</p>	聞く	他のグループの音読を聞き、よいところを見つけながら聞くことができる。	観察 発言内容 ノート

8. 本時のねらい

最初と最後のかげおくりの間に失われていったものを考えることによって、戦争がちいちゃんから命や大切なものを奪っていくものであることが分かる。

9. 本時の展開 (9 / 1 2)

	ねらい	学 習 活 動	指導・援助 (評価)
つ か む / ね り あ う / 深 め る / ま と め る / 振 り 返 る	<p>・本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>・類似点や相違点を見つけながら話し合いができる。</p> <p>・ちいちゃんのまわりから多くのものや人が失われていった悲しい気持ち、寂しい気持ちが理解できる。</p> <p>今日の学習の取り組みをふりかえる。</p>	<p>1. 4場面を通読する。</p> <p>2. 前時の2つのかげおくりのちがいをふりかえり、課題を確認する。 「2つのかげおくりの間に、ちいちゃんのまわりからなくなっていったものを見つけましょう。」 なくなつたものを見つけよう。</p> <p>3. 自分の考えをノートに書く。</p> <p>4. グループで考えを交流する。</p> <p>5. 全体で交流する。 (1)「なくなつたものを順に出していきましょう。」 ・お父さん ・楽しく遊べる空 ・お母さん ・お兄ちゃん ・家 ・ちいちゃんの命</p> <p>(2)「いろいろなものがちいちゃんのまわりから消えていったね。なんでなくなつたのかな。」 ・戦争 ・空襲 ・父の出征</p> <p>6. 学習のまとめをする。 「戦争によって、ちいちゃんのまわりから大切なものがたくさんなくなつてしまつたね。最後にはちいちゃんの命もなくなつてしまつたね。こういう子がこの時代にはたくさんいたんだよ。」</p> <p>7. ふりかえる</p>	<p>練りあうための指導・援助</p> <p>・仲間の発言に絡めた話し方を心がけさせる。</p> <p>・自分の考えの述べ方、リーダーの進め方などの話型指導をする。</p> <p>深めるための指導・援助</p> <p>・挿絵をはずしていくことによって、なくなつていったものが、視覚的にわかりやすくする。</p> <p>・1場面と4場面で見比べたことを掲示しておき、時間の流れがわかりやすくする。</p> <p>評価規準</p> <p>失われていったものを見つけることによって、戦争がちいちゃん大切なものやちいちゃん自身を奪つてしまつたということが分かる。自分の考えをノートに書いている。グループまたは全体交流で意見が言える。</p>

3年3組 国語科学習指導案

日 時 平成17年10月5日(水)

場 所 3年3組教室(東舎3階)

授業者 山崎 恵子

1. 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう 「ちいちゃんのかげおくり」

2. 指導の立場

(1) 教材について

作品は、教科書で最初に出会う戦時下状況の文学である。戦争の悲惨さや戦争反対を直接表現している作品ではないが、情景や人物の言動がいきいきと描かれている。よって、子どもたちはちいちゃんの感情移入しやすく、家族いっしょのかげおくりを楽しんだり、ひとりぼっちになった悲しさや恐怖を感じたりしながら読み進めることができるであろう。

父の出征前に家族そろって楽しんだかげおくりと、ちいちゃんがたったひとりでやるかげおくりは、その様子が対照的である。空の様子の描写も、場面によって異なっている。二つのかげおくりの相違点や空の様子の変化に気づいていくことは、作品を理解するうえで大切なことであろう。そして場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに豊かに想像して正しく読むことを身につけさせたい。

(2) 児童の実態

3年生になって、「きつつきの商売」「三年とうげ」の二つの物語教材を学習してきた。言葉に着目して考えをもつために、一問一答で本文からキーワードを見つけることや、気持ちがわかる言葉や文に線を引かせること、会話文だけに注目して読み進めることなどを行ってきた。そうすることで短くても自分なりの考えをもち、ノートに書けるようになってきた。また、文中の言葉を手がかりに読み進められる発問、討論のしやすい発問をすることで、意欲的に意見を書いたり、発言したりする子が増えてきた。

一方で40人という環境の中で、意見を言わずにすんでしまう子、自分が発言するとそれで満足してしまう子が多い。そこで全員に発言の機会を与えるため、グループ交流にした。交流ではリーダーが進め、付け加えや質問、「さんと似ていて・・・」など、友達の発言につなげていくこと活動を設けることで、人の話を集中していくことの大切さに気づかせていきたいと考えている。またグループの友達に分かりやすく話すために、声の大きさを考え、教科書を聞き手に見せながら、「ここに書いてあります。」と示すことができるグループも出てきた。本時までに5,6回この活動を行うことで、話型やルールを定着させたい。